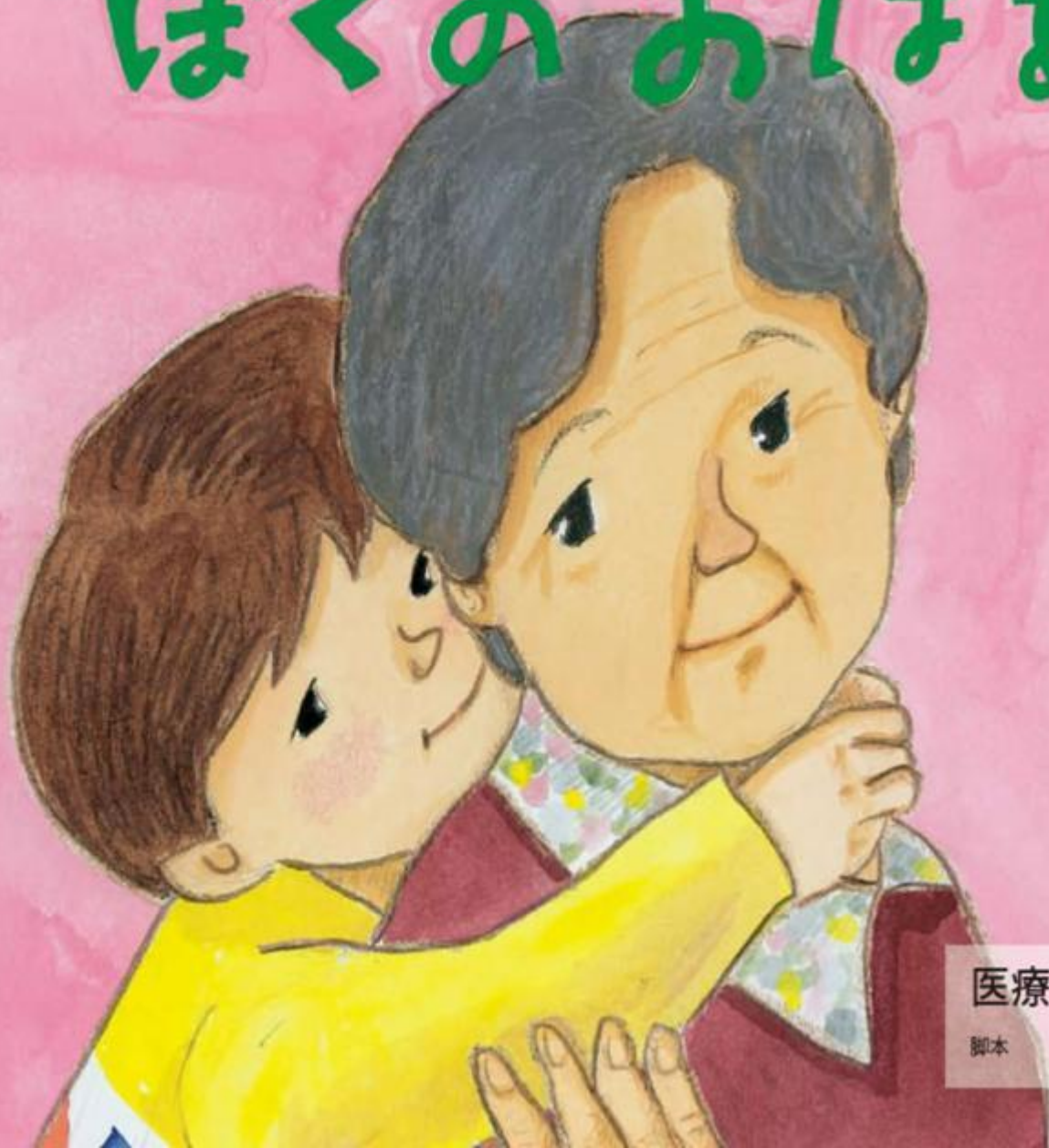


# ぼくのおばあちゃん



医療法人ビハーラ 藤原胃腸科

脚本 藤原壽則 画 大野美保



# ぼくのおばあちゃん



ぼくの家族は、お父さんとお母さん、そして  
85歳のおばあちゃんとぼくの4人です。

イラスト：藤原智恵子  
監修：野美保



# ぼくのおばあちゃん



ぼくは、小学校3年生、  
おばあちゃんが大好きです。

監修 藤原胃腸科

著者 大野美保



# ぼくのおばあちゃん

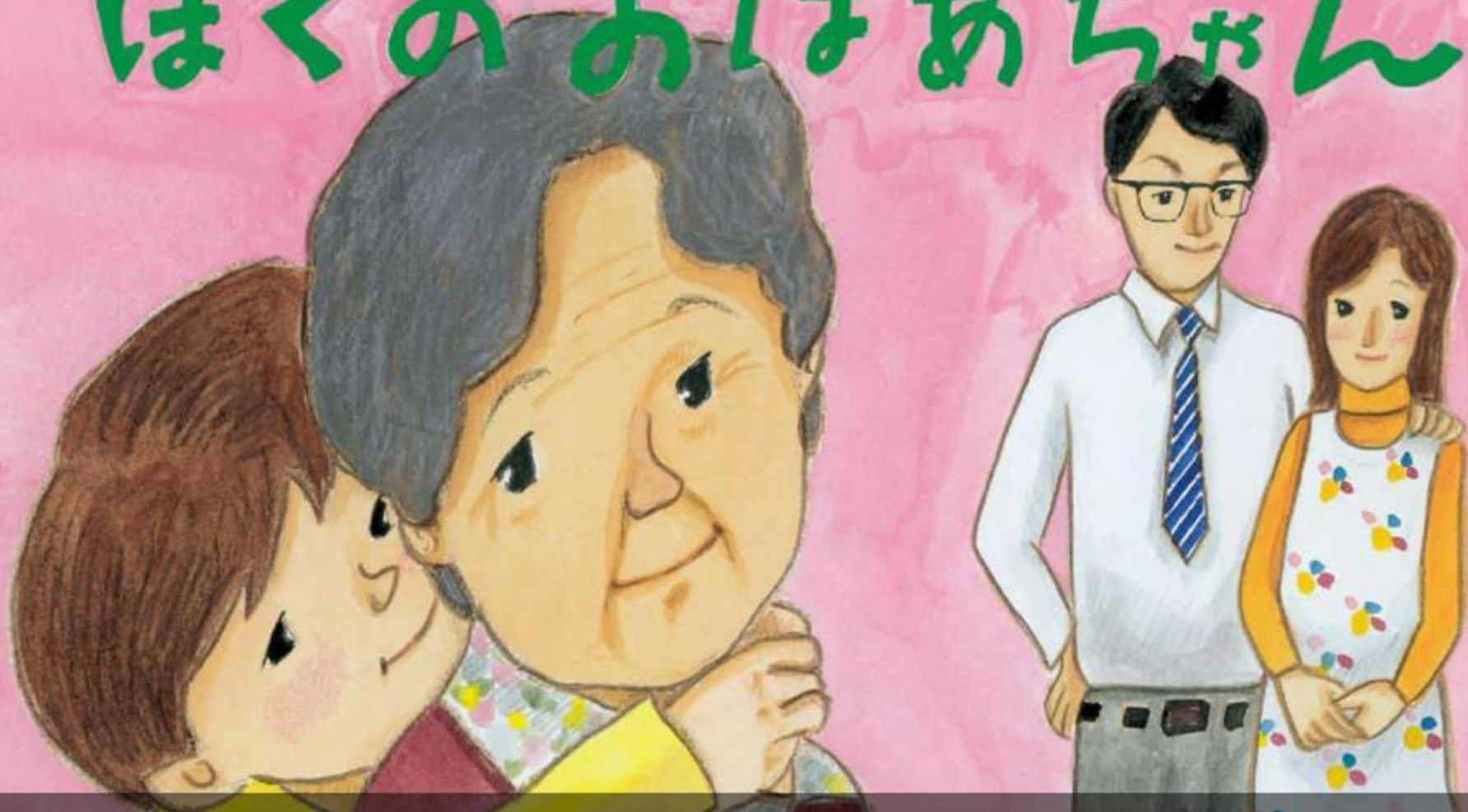


でも、ちょっと気になることがあるんです。

医療法人ビハーラ 藤原胃腸科  
藤原詩剣 大野美保



# ぼくのおばあちゃん



おばあちゃんは、最近、直ぐまえのことを  
すっかり忘れて、同じことを何回も尋ねたり、

医療法人 藤原胃腸科  
藤原胃腸科 大野善伊



# ぼくのおじあちゃん



ぼくをお父さんの名前で  
呼んだりすることがあるんです。

藤原胃腸科

藤原 大野美保



# ぼくのおばあちゃん



お母さんも、ある時は娘だったり、  
ある時はお嫁さんだったりします。

藤原胃腸科

藤原胃腸科 大野美保





「久美子さん、ごはんはまだかいのう？」  
「えっ？」





「おばあちゃん、さっき食べたじゃないの」





「なに言ってるのよ、まだ食べてないわよ。  
お腹が空いて腹の虫がぐーぐーなきよるがな」





「久美子さんは、私にごはんを食べさせてくれんのかのう」





「はい、はい、直ぐ用意しますから、  
お茶を飲んでしばらく待っていてください」





お母さんは笑顔で  
おばあちゃんにお茶を勧めます。





お茶を飲みながら、しばらくすると  
おばあちゃんは、食事のことは忘れて、





きれいな着物を着て、  
何冊も本を風呂敷に包み、小脇に抱えて、





「じゃあ行ってくるね」と言って  
出かけていきました。